



弱溶剤系2液型ポリウレタン樹脂塗料

# フッ素鋼板用プライマー

FUSSO KOUHAN PRIMER

鉛・クロムフリー

## 用途

### フッ素鋼板屋根の改修プライマー

- ※1 劣化していないフッ素鋼板には使用できません。
- ※2 フッ素樹脂ラミネート鋼板やPETラミネート鋼板等の特殊な鋼板には付着しません。
- ※3 フッ素鋼板には多種ありますので、必ずテスト施工で付着性を確認してから施工してください。

## 特長

- フッ素屋根に対して密着性に優れています。
- 鉛およびクロムフリーの無公害防錆顔料を使用し、かつ優れた防錆力（JIS K 5625以上）を有します。
- 各種弱溶剤系上塗りが塗装可能です。

## 適合上塗り材

適合素材  
フッ素鋼板

※フッ素鋼板には多種あります。  
必ずテスト施工で付着性を確認  
してから施工してください。

フッ素鋼板および旧塗膜に劣化がない場合は  
マジクロン等で十分に目粗しを行う。

フッ素鋼板用プライマー

## 適合上塗り材

- パワーフロンマイルド
- パワーシリコンマイルドⅡ
- バイオマスR-Si
- ルーフマイルドSi
- ルーフマイルドU
- PSマイルドSコート
- 快適サーモF※
- 快適サーモSi※
- 快適サーモBio※

※上塗りが快適サーモF・Si・Bioの場合の下塗りは、  
フッ素鋼板用プライマー「サーモクリーム色」  
をご使用ください。

## 塗膜性能

試験項目	評価方法 品質基準	試験結果
付着性	JIS K 5600 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
引っかき硬度	JIS K 5600 (鉛筆すり傷法)	HB
耐おもり落下性	JIS K 5600 (デュボン式) 500g×30cm×1/2φ	異常なし
耐液体性	JIS K 5600 (水道水 浸せき法) 23℃×10日間	異常なし
耐中性塩水噴霧性	JIS K 5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし

試験塗板：フッ素鋼板（耐水研磨紙#240にて表面研磨） 乾燥条件：23℃×7日間放置  
（耐中性塩水噴霧性の試験塗板は、冷間圧延鋼板を使用）

## 塗装仕様

上塗りがパワーシリコンマイルドⅡの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、旧塗膜に割れ・はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。 また、フッ素鋼板の劣化の程度が小さい場合は耐水研磨紙にて充分研磨(水が弾かなくなるまで)する。 その後、清掃・水洗・乾燥させてから塗装する。									
下塗り	フッ素鋼板用プライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	5～15% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.11～0.15 <sup>※</sup>	100～136	2h以内	-	4h以上 10日以内	-
		15～30% (RMシンナー)	エアレス		0.15～0.17 <sup>※</sup>	88～100				
上塗り	パワーシリコンマイルドⅡ 主剤14kg 硬化剤2kg	10～20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.10～0.12	67～80	5h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25～35% (RMシンナー)	エアレス		0.11～0.13	62～73				

※塗分量はグレーと赤さび色の塗分量です。白とサーモクリームを施工する場合は、以下の塗分量を参考にしてください。

ハケ・ローラーの場合：0.15～0.17kg/m<sup>2</sup>/回

エアレス塗装の場合：0.17～0.19kg/m<sup>2</sup>/回

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。

## 荷 姿

- フッ素鋼板用プライマー . . . 15kgセット (主剤14kg 硬化剤1kg)
- RMシンナー . . . 16L 4L

(シンナーは A:春秋型、S:夏型、W:冬型、W速乾用 があります)

## 標準色

色 名	日塗工見本
白	N-95程度
グレー	N-55程度
赤さび	09-40L程度
サーモクリーム	22-90C程度

※上塗りが快適サーモF・Si・Bioの場合は、サーモクリームをご使用ください。

## 注意事項

各種上塗りの注意事項は、別途ご参照ください。

### 【仕様全般】

- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
- 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【塗料に関する注意事項】

- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ずRMシンナーをご使用ください。
- 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
- 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
- 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ウレタンシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
- 2液型塗料は、硬化が不十分な場合は、RMシンナーで再溶解する場合があります。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤を別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早めに使い切ってください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
本社・東京・北関東・中部・広島・福岡・札幌・仙台

カタログ掲載の内装は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2105